



空宙博 岐阜かかみがはら
航空宇宙博物館
GIFU-KAKAMIGAHARA AIR AND SPACE MUSEUM



岐阜県政記者クラブ加盟社各位
各務原市政記者クラブ同時配布資料
国土交通記者会 同時配布



令和5年3月20日（月）岐阜県発表資料		
担当課・係	担当者	電話番号
航空宇宙産業課 企画連携係	岩田 樋口	内線3763 直通058-272-8836 FAX 058-278-2653
各務原市 観光交流課 観光振興係	神田 河瀬	直通058-383-9926 FAX 058-389-0765
(公財) 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館	松波 松井	直通058-386-8500 FAX 058-386-9912
(一財) 日本航空協会 航空遺産継承基金事務局	荻田	直通03-3502-1207 FAX 03-3503-1375

当日の連絡先 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館（担当：松波）
電話 058-386-8500

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館

三式戦闘機二型「飛燕」の「重要航空遺産」認定式

を開催します

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館（愛称「^{そらはく}空宙博」）では、当地とゆかりのある航空機を、数多く展示しています。

この度、当博物館で展示をしている三式戦闘機二型「飛燕」が、一般財団法人日本航空協会による「重要航空遺産」に認定されることとなりました。

つきましては、認定式（認定証等の授与）を、空宙博リニューアル5周年オープニング式典内において下記のとおり開催します。

記

- 1 日 付 令和5年3月25日（土） 10:30～10:45
- 2 場 所 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館（各務原市下切町5丁目1番地）
1階 A3エリア（F-4ファントム前）
- 3 空宙博リニューアルオープン5周年オープニング式典次第

- ・挨拶（岐阜県知事、各務原市長）
- ・「重要航空遺産」認定式（認定証、認定プレートの授与）
※（一財）日本航空協会会長から知事、市長へ
- ・F4ファントムテープカット

※式典後、今回認定された「飛燕」前で認定の記念撮影を行います
（知事、市長、県議会副議長、（一財）日本航空協会会長）

4 5周年オープニング式典出席者

- ・岐阜県知事 古田 肇（ふるた はじめ）
- ・各務原市長 浅野 健司（あさの けんじ）
- ・空宙博アンバサダー 山崎 直子（やまざき なおこ）
- ・岐阜県議会 副議長 加藤 大博（かとう ともひろ）
- ・（一財）日本航空協会 会長 篠辺 修（しのべ おさむ）

5 認定内容（（一財）日本航空協会による）

- ・認定対象：三式戦闘機二型「飛燕」
- ・所有者：一般財団法人日本航空協会
- ・展示場所：岐阜かかみがはら航空宇宙博物館
- ・認定理由：三式戦闘機二型「飛燕」（以下、「飛燕」）は第2次世界大戦までの日本の航空機開発の技術的到達点を示している。「飛燕」は約3,000機が製造されたが、製造当時の姿を残した状態で現存する飛燕（以下、本機）は岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の機体だけであり、本機の稀少性は高い。
本機は2015～2018年に行われた文化財としての修復と調査により、機体各部に80年前に製造された当時の、オリジナルの状態を遺していることが確認され文化財的価値は高い。以上の点から、本機は貴重な航空遺産と言える。

- ・認定日：令和5年3月25日（土）

<参考>

○一般財団法人日本航空協会について

航空宇宙思想の普及、航空宇宙文化の醸成、航空宇宙技術の向上を図り、内外の航空宇宙団体との緊密な連携のもとに、航空宇宙諸般の進歩発展に寄与することを目的に設立された団体。

会 長 篠辺 修（しのべ おさむ）

所 在 地 東京都港区新橋1丁目18番1号

事業内容 ・航空宇宙に関する講演会、講習会等の開催
・航空宇宙に関する資料の収集、調査、保存及び公開
・機関誌その他航空宇宙に関する図書の発行
・航空宇宙関係者の表彰及び弔意援護
・内外の航空宇宙諸団体並びに諸機関との連携
・航空宇宙事業の健全な発展の促進及び支援 等

○「重要航空遺産」について

歴史的文化的に価値の高い航空遺産を「重要航空遺産」として認定し、その意義を広く社会に知らしめるとともに、後世に遺していくため、「重要航空遺産認定制度」を平成19年に設立。

現在国内で11件認定され、そのうち2機が空宙博で収蔵・展示中。

（「X1G1B高揚力研究機」及び「UF-XS実験飛行艇」）

○三式戦闘機「飛燕」について

1941(昭和16)年12月に各務原飛行場で初飛行し、1945(昭和20)年の終戦まで約3,000機が生産された。各務原で一番多く製造された飛行機。主任設計者は、のちに国産旅客機YS-11にも携わることになる土井武夫。

当時国内で主流であった空冷エンジンにくらべて空気抵抗を小さくできる液冷エンジンを採用したスマートな胴体に、細長い主翼を組み合わせることで、速度と旋回性能の両方を狙った。

空宙博展示機はエンジンをパワーアップした二型の増加試作機(機体番号6117)で、現存する唯一の二型である。

